2017年8月16日 鳴門市うずしお会館

## 古地図・絵図にみる鳴門の渦潮

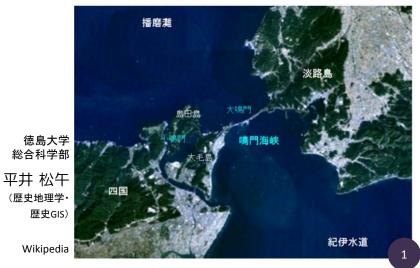
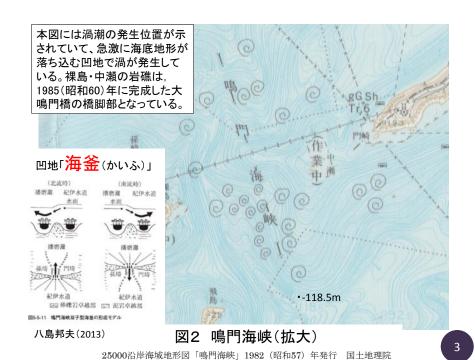


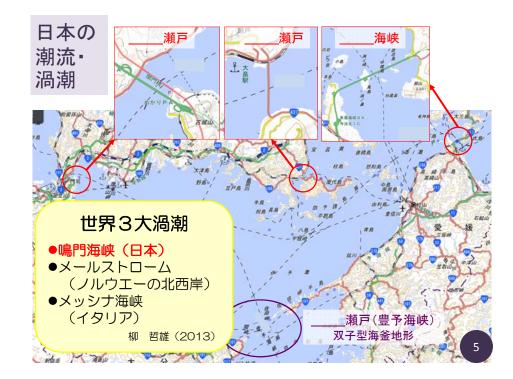


図1 鳴門海峡

数値は凹地の最大深度

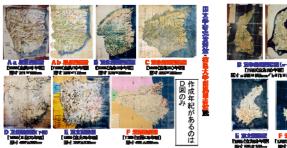
25000沿岸海域地形図「鳴門海峡」 1982(昭和57)年発行 国土地理院 2

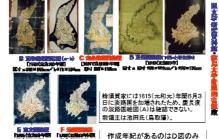




# 2 幕府撰 阿波国・淡路国絵図にみる「鳴門の渦潮」

## 初めて17世紀の絵図に登場





阿波国絵図 6期7点

淡路国絵図 5期7点

7



1605年頃 白波 「潮流」表現



図3 慶長度阿波国絵図にみる「鳴渡」

「阿波国大絵図」徳島大学附属図書館蔵(徳1) 部分図 http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/~archive/t/t001.html

8



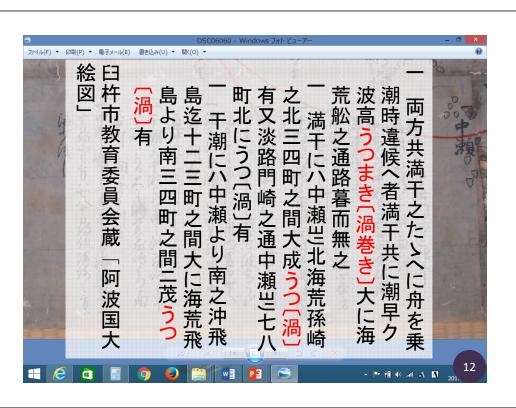
図6「四国古図」にみる大鳴門 の渦潮

年不詳 部分図

鎌田共済会郷土博物館蔵 右図は海峡部(大鳴門)の拡大図。 阿波国・淡路国の記載内容は、寛永前期の阿波国 絵図・淡路国絵図を反映している。



初めて「渦潮」を表現



10

## 3 沿岸航路図にみる「鳴門の渦潮」





#### 図11 海瀕舟行図

延宝8年(1680) 部分図 衣斐蓋子作 神戸市立中央図書館蔵 http://www.city.kobe.lg.jp/information/institution/inst itution/library/arc/viewers/025\_3.html

#### 17世紀後半の代表的な沿岸航路図 「潮流」表現

17

## 4 日本図にみる「鳴門の渦潮」



近世になると、木版印刷技術が発達し、世界図、日本図、地方図、都市図(三都図)なども多数出版されてくる。ここでは一枚仕立ての日本図を取り上げる。

左図をもとに、安永9年に大坂で出版された長久保赤水「改正日本奥地路程全図」は、江戸時代後期を代表する刊行日本図。

#### 新刻日本輿地路程全図

1774 (安永 3) / 本図は年安永 8年 (1775) 版 部分図 岡山大学附属図書館池田家文庫蔵 (T10·11) http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ikedake/zoomify/T10\_11\_UT02000370.html



## 図18 日本海山潮陸図

1691(元禄4)年 部分図 図工 <mark>石川流宣</mark>作/板本 相模屋太兵衛 国立国会図書館蔵(るニー36) http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1286173

#### 近世前期の 代表的日本図

24





「大渦」表記

図20 日本絵図・名所入

元禄 4 年(1691) 部分図 秋岡武次郎旧蔵『日本古地図集成』所載



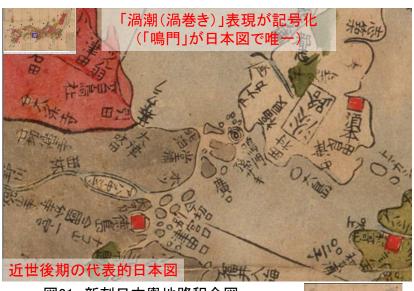


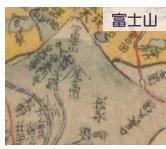
図21 新刻日本輿地路程全図

1774 (安永 3) /本図は年安永 8 年 (1775) 版 部分図 岡山大学附属図書館池田家文庫蔵 (T10-11) http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ikedake/zoomify/T10\_11\_UT02000370.html









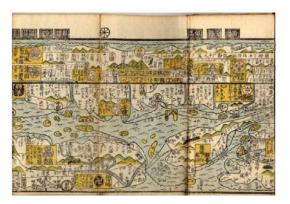
△ 古城古戦場 〇 名所



「新刻日本 輿地路程全 図」にみる 世界遺産



# 道中図・名所図にみる「鳴門」 江戸時代の観光案内図 刊行図(木版印刷) 折本・巻子本・図帖など





明和7年(1770) 部分図 鳥飼洞斎編/吉文字屋市兵衛 札幌市中央図書館蔵(291.038) http://gazo.library.city.sapporo.jp/shiryouDetail/shiryouDetail.php?listId=69&recId=1073&pageI

d=29&thumPageNo=3

#### 左: 国郡全図 2巻.[2]

1828 (文政11) 年 青生, 東谿[ほか 国立国会図書館(特1-103) http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/255

図28 刊行国図にみる 鳴門の渦潮表記

デフォルメされた 渦巻き型「渦潮」表現 記号化

下: 大日本輿地便覧 坤

天保5年(1834) 徳島大学附属図書館蔵(全4)



## 地図記号化した多様な「渦」=「鳴門」









大日本道中細見絵図 弘化4年(1847)



大日本籌海全図 元 明治元年(1868)









明治5年(1872)









畿内近州掌覧図 慶応2年(1866)





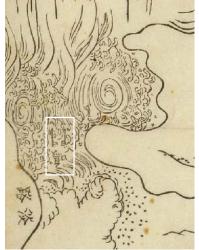
\_\_ 潮」表現 「ナルト」

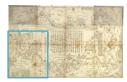
図26 日本名所の絵 寛政-文化(1789~1818年)頃 部分図 国立国会図書館蔵(亥-125)

斎紹真(鍬形蕙斎)筆 http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8369262









#### 図27 四国偏礼之図

部分図 右図は拡大図

1763 (宝暦13) 年 細田周英

四国大学附属図書館蔵 http://adcweb.g.shikokuu.ac.ip/RYOUSYOU/awa ezu/002 henrei/index.html



246 阿波名所図絵 文化6年(1809)ライデン大学シーボルトコレクション 41

### 図6 1640年頃 図10 1672年 図8 1700年頃 図4 1605年頃 図25 1770年 図21 1779年 図28 1854年 図20 1691年 道中図 名所図 図18 1691年 図27 1763年 図26 1800年前後 日本図 民(間景 問刊行図系(観描写)

図30「鳴門の渦潮」の絵図表現 日本の海域で唯一表記 「名所」

## 古地図にみる「鳴門の渦潮」

- ▶「鳴門の渦潮」が古地図に表記されるのは近世前期の幕府撰国絵図で、「渦潮」が明確に景観描写されたのは、寛永10年(1633)頃の阿波・淡路国絵図をベースとする「四国古図」。
- ▶ 幕府撰日本図や沿岸航路図では、「渦潮」の景観描写は後退。
- ▶ 17世紀末以降に登場してくる道中図・名所図において、鳴門の「渦」表現がデフォルメ表記 → 名所見物・巡礼などの隆盛に伴い、「鳴門の渦潮」が案内図に不可欠なアイテム=名所として取り上げられる。
- ▶ 近世後期を代表する長久保赤水の「改正日本輿地路程全図」では、どの版においても二~三重の「渦」記号で「鳴門の渦潮」を表記
- ●近世期の日本古地図において、陸上部にある名勝地や寺社などではなく、海上海洋現象である「鳴門の渦潮」が唯一、地図に(記号として)表記される。
- □この点で、「鳴門」は類い稀な自然現象が生起する海域=名所と 認識されていたことが理解できる。(世界遺産の基準:最上級の自然 現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域)